



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 帝国通信工業株式会社  
コード番号 6763 URL <http://www.noble-j.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一柳 和夫  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理室管掌 (氏名) 小田切 純夫

TEL 044-422-3831

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,395	11.3	268		251		288	
23年3月期第1四半期	3,826	24.3	219		258		246	

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 281百万円 ( %) 23年3月期第1四半期 247百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	5.93	
23年3月期第1四半期	5.07	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	21,579	18,009	81.8
23年3月期	21,835	18,437	82.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 17,659百万円 23年3月期 18,065百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		4.50		2.50	7.00
24年3月期					
24年3月期(予想)		2.50		2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,700	3.3	150		150		200		4.11
通期	15,500	0.2	200		300		200		4.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	50,709,167 株	23年3月期	50,709,167 株
24年3月期1Q	2,029,343 株	23年3月期	2,027,831 株
24年3月期1Q	48,680,825 株	23年3月期1Q	48,604,674 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
製品別販売実績.....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国や欧州の一部における財政問題や、中国をはじめとする新興国における賃金上昇とインフレなど、不安材料が見られましたが、新興国市場に牽引され総じて回復基調で推移しました。日本経済は、3月11日に発生した東日本大震災と、それに続く東京電力福島第1原子力発電所の事故による混乱が政治経済の両面で続き、それに加えてドル安円高状況も続き、先行きの不透明感は払拭されておりません。

当社グループの属するエレクトロニクス業界では、震災および原発事故による電力供給問題による生産の停滞が改善され、回復の兆しが見えてきました。しかし、市場では人気スマートフォンに集中し従来型携帯電話が不調であることや、期待の薄型テレビは大型が売れず中小サイズが好調であるなど、同じ市場でも明暗が分かれました。

このような状況の中で当社グループは、引き続き収益改善を最重要課題として取り組んでまいりました。主要品目の一部は生産を中国からベトナムへ移し、また一部は設計から見直すことで製造コスト削減を図っております。販売面では重要性の増している中国、東南アジア市場への販売力強化と新規市場開拓を進めておりますが、震災等の影響もあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は33億95百万円（前年同期比11.3%減）となりました。損益面では原価低減や経費削減に努めましたが、減収および円高のため2億68百万円の営業損失（前年同期は2億19百万円の営業損失）となり、経常損失は2億51百万円（前年同期は2億58百万円の経常損失）、四半期純損失は2億88百万円（前年同期は2億46百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 電子部品

デジタルカメラ向け前面操作ブロック（ICB）製品、新型ゲーム機向け可変抵抗器、給湯器向け固定抵抗器などが好調でしたが、東日本大震災の影響などで顧客の生産計画が変動し、当社の受注、出荷は総じて低水準で推移しました。

この結果、電子部品の売上高は32億27百万円（前年同期比14.0%減）、営業損失は2億34百万円（前年同期は2億4百万円の営業損失）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

#### a. 日本

ICB製品の低迷に加え、東日本大震災の影響で自動車電装顧客の生産が停滞しました。

この結果、売上高は15億53百万円となり、営業損失は34百万円となりました。

#### b. アジア

PC関連機器向けの受注が低下したほか、東日本大震災の影響で自動車電装顧客の生産が停滞しました。

この結果、売上高は15億61百万円、営業損失は1億78百万円となりました。

#### c. 北米

主要市場である薄型テレビ向けが顧客の生産低迷により売上高が大幅に減少しました。

この結果、売上高は1億11百万円、営業利益は0百万円となりました。

#### その他

機械設備に関しては、海外顧客向けシーム溶接機の新規受注により売上高は回復しました。

この結果、その他の売上高は1億67百万円（前年同期比133.4%増）、製造原価の上昇により営業損失は36百万円（前年同期は15百万円の営業損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ2億56百万円減少し215億79百万円となりました。その内訳は、流動資産が2億0百万円減少し136億61百万円、固定資産が56百万円減少し79億17百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ1億71百万円増加し35億69百万円となりました。その内訳は、流動負債が2億0百万円増加し29億85百万円、固定負債が29百万円減少し5億84百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ4億28百万円減少し180億9百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末82.7%から81.8%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績見通しにつきましては、平成23年5月13日に公表した見通しから変更ありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (たな卸資産の評価方法の変更)

当社及び国内連結子会社における製品の評価方法は、従来、主として売価還元法によっておりましたが、新在庫管理システムが完成・本稼働し、製品の受払管理に基づく原価計算がシステム化されたことに伴い、より合理的な製品の評価及び適正な期間損益の計算が可能になったため、当第1四半期連結会計期間から主として総平均法に変更いたしました。

当第1四半期連結会計期間に新在庫管理システムが本稼働したことから、過去の連結会計年度に関する製品の受払記録が一部入手不可能であり、この会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を前連結会計年度の期首時点において算定することは実務上不可能であります。そのため、当該会計方針の変更は、総平均法に基づく当第1四半期連結会計期間の期首の製品の帳簿価額と、前連結会計年度の期末における製品の帳簿価額の差額を元に算定した累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首残高に反映しております。

なお、当該変更による製品、売上原価及び各段階損益並びに1株当たり情報への影響額は僅少であります。

また、当第1四半期連結会計期間の期首の純資産の帳簿価額に反映された会計方針の変更の累積的影響額も僅少であります。

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,485,198	6,198,999
受取手形及び売掛金	3,884,086	3,675,420
商品及び製品	1,249,363	1,296,102
仕掛品	628,636	727,905
原材料及び貯蔵品	845,338	921,386
その他	778,223	848,558
貸倒引当金	8,984	6,585
流動資産合計	13,861,863	13,661,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,403,323	2,355,084
機械装置及び運搬具(純額)	1,814,453	1,799,246
その他(純額)	820,852	851,299
有形固定資産合計	5,038,628	5,005,630
無形固定資産		
投資その他の資産	195,960	190,426
投資有価証券	1,384,245	1,343,698
その他	1,361,590	1,383,890
貸倒引当金	6,428	6,427
投資その他の資産合計	2,739,408	2,721,161
固定資産合計	7,973,997	7,917,218
資産合計	21,835,861	21,579,006
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,541,183	1,608,697
短期借入金	120,906	127,591
未払法人税等	60,907	45,204
賞与引当金	328,059	199,520
役員賞与引当金	-	3,600
その他	733,787	1,000,949
流動負債合計	2,784,844	2,985,562
固定負債		
退職給付引当金	245,793	233,099
その他	367,826	350,987
固定負債合計	613,620	584,086
負債合計	3,398,464	3,569,649

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	11,560,476	11,151,998
自己株式	1,022,705	1,022,771
株主資本合計	19,447,163	19,038,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,339	120,640
為替換算調整勘定	1,525,155	1,499,985
その他の包括利益累計額合計	1,381,815	1,379,345
新株予約権	11,827	15,770
少数株主持分	360,221	334,312
純資産合計	18,437,397	18,009,357
負債純資産合計	21,835,861	21,579,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,826,933	3,395,297
売上原価	2,948,369	2,685,913
売上総利益	878,564	709,384
販売費及び一般管理費	1,097,709	977,824
営業損失( )	219,145	268,440
営業外収益		
受取利息	3,149	4,293
受取配当金	15,475	15,336
受取賃貸料	35,272	34,503
その他	16,605	39,361
営業外収益合計	70,503	93,495
営業外費用		
支払利息	143	98
固定資産賃貸費用	12,687	15,568
為替差損	92,570	55,177
その他	4,117	5,807
営業外費用合計	109,518	76,651
経常損失( )	258,159	251,596
特別利益		
投資有価証券売却益	20,591	-
特別利益合計	20,591	-
税金等調整前四半期純損失( )	237,567	251,596
法人税等	2,131	30,567
少数株主損益調整前四半期純損失( )	239,698	282,163
少数株主利益	6,499	6,676
四半期純損失( )	246,198	288,840



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	239,698	282,163
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	42,120	22,446
為替換算調整勘定	34,161	22,882
その他の包括利益合計	7,959	436
四半期包括利益	247,658	281,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,084	286,369
少数株主に係る四半期包括利益	17,574	4,642

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	3,755,125	71,807	3,826,933	-	3,826,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	717	71,933	72,651	(72,651)	-
計	3,755,843	143,741	3,899,585	(72,651)	3,826,933
セグメント損失( )	204,076	15,660	219,736	591	219,145

(注)1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上 高	1,842,594	1,747,020	165,510	3,755,125	-	3,755,125
地域間の内部売上 高又は振替高	1,861,750	1,763,244	-	3,624,995	(3,624,277)	717
計	3,704,345	3,510,265	165,510	7,380,121	(3,624,277)	3,755,843
地域別利益又は損失 ( )	40,390	130,769	990	170,168	33,907	204,076

2. セグメント損失( )の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失( )と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	3,227,715	167,581	3,395,297	-	3,395,297
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,549	113,558	128,108	(128,108)	-
計	3,242,265	281,140	3,523,405	(128,108)	3,395,297
セグメント損失( )	234,549	36,325	270,875	2,434	268,440

(注)1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上 高	1,553,872	1,561,943	111,900	3,227,715	-	3,227,715
地域間の内部売上 高又は振替高	1,568,051	1,566,148	-	3,134,199	(3,119,650)	14,549
計	3,121,923	3,128,091	111,900	6,361,915	(3,119,650)	3,242,265
地域別利益又は損失 ( )	34,058	178,355	667	211,746	22,803	234,549

2. セグメント損失( )の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失( )と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報  
製品別販売実績

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック(千円)	1,271,681	33.2	1,084,304	31.9	85.3
可変抵抗器(千円)	1,076,515	28.1	949,145	28.0	88.2
固定抵抗器(千円)	432,544	11.3	404,032	11.9	93.4
その他(千円)	974,385	25.5	790,233	23.3	81.1
小計(千円)	3,755,125	98.1	3,227,715	95.1	86.0
その他					
その他(千円)	71,807	1.9	167,581	4.9	233.4
小計(千円)	71,807	1.9	167,581	4.9	233.4
合計(千円)	3,826,933	100.0	3,395,297	100.0	88.7